



# 楓の森アップデート3



合志市立合志楓の森小学校  
学校だより 第18号  
令和8年1月14日(水)  
文責:校長 佐藤 政臣

○校訓「志高く 道を拓く」

○学校教育目標「夢を持ち 自ら考え よりよく行動できる児童の育成」

## 本年もどうぞよろしく お願いたします。

新しい年を迎えました。新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

冬休み明け集会では、「一年の計は元旦にあり」ということで、わかりやすくスライドで示しながら、目標をもって努力することについてお話ししました。

\*\*\*\*\*以下、校長講話\*\*\*\*\*  
みなさん、明けましておめでとうございます。

さて、みなさんの冬休みはどうでしたか。この冬休み明けに、事故などもなく、みなさんの元気な笑顔に出会えたことに感謝したいと思います。

いよいよ令和8年、2026年がスタートしました。今年の干支は何でしょうか。今年は、午年です。昔の日本では、時刻を十二支で数えていました。午の刻は、11時から13時をあらわし、その真ん中が正午になります。ですから、いまでも午の刻の前を午前、後を午後というのです。午年は、十二支のなかでも、成長や繁栄のシンボルとして、縁起がよい年とされています。では、成長するためには、どうすればいいでしょうか。

それは、努力する方向を決めることです。つまり、目標を決めるところから始めましょう。よく、「1年の計は元旦にあり。」といわれています。ぜひみなさんも新しい年を迎えるにあたって、「今年はこんなことをがんばるぞ！」という目標をたててください。そして、その目標の実現に向かって、一生懸命に努力してほしいと思います。後期の後半は、進級や卒業に向けて、一年の総まとめをしなければいけない、とても重要な時期になります。そこで、校長先生は、みなさんに三つのお願いをしたいと思います。

一つ目は、「しっかり学ぶ」ということです。では、しっかり学ぶとは、どのような学びでしょうか。3つの例をあげてお話ししますから、しっかり聞いてください。

まず、「① わからないことをそのままにしないということ」です。わからぬことがあつたら、自分で調べたり、先生に聞いたりしてわかるように努力することが大切です。わからぬことをわからぬままにしないで、その日のうちに解決できると知識が積み重なっていき、勉強が楽しくなります。

次に、「② 決められたことを当たり前にできるようになること」です。例えば、宿題です。「宿題しない！」と親から言われなくとも、進んでできているでしょうか。宿題は、勉強したことを、忘れるこ

となく確かなものにするためにするものです。「宿題をするのは当たり前」という気持ちで努力できるといいですね。

そして、「③ 進んで勉強できるようになること」です。自分の得意・不得意がわかった上で、自学なども進んでできるようになることが大切になります。

このような3つの力が備わっている子どもは、「自分らしい人生を切り拓くことができるようになる」でしょう。

二つ目は、「仲間を大切にする」ということです。合志楓の森小学校のみんなは、とても仲良く、楽しく学校生活を送ってくれていると思っています。これからもみんなが仲良くなるように「思いやり」をもって接するようにしましょう。思いやりの原点は、「お隣さんは元気かな？」と気にかけることだと思います。自分の隣に座っている子が、「困っていないかな？ひとりぼっちになってないかな？」と…。自分のことも大切ですが、ぜひ、自分の隣の友だちの様子もよく見て、声をかけましょう。「困っている友達がいたら声をかける」ことができる優しい子になってほしいと願います。

三つ目は、「感謝の心」をもつということです。6年生は、6年間の小学校全課程を終え、中学生になります。6年生は、最上級生として、この1年間さまざま面でリーダーシップを発揮してくれました。1年生から5年生までの人は、6年生のこれまでの頑張りに対して「6年生ありがとう」と感謝の心を持つことが大切です。感謝することは、6年生の頑張りを認めることとなり、「ありがとう」といわれると6年生もうれしくなります。また、5年生のみなさんは、「次は自分たちがリーダーとなること」への自覚に繋がります。他の学年のみんなも何年後かに自分たちが6年生になったときの力となるはずです。卒業式は、学校行事の中でも、最も大切な行事です。是非、みなさんと先生方と気持ちを一つにして、「感謝の気持ち」をもって、6年生を送り出したいと思います。先ほど述べた、「こまっている友達がいたら声をかけたり、ありがとうといわれるとうれしくなったりする」と、自己有用感が上がります。自己有用感とは、「自分が何かの役に立っているという感覚」です。人はだれかの役に立ったとき、最大の幸福を感じるといわれています。この感覚が高い子は、自分らしさを発揮して未来を切り拓いていくことができる子です。

もう今の学年で勉強するのは、あと残り3か月です。この3か月が、1年で一番大切な時期です。6年生にとっては、残りわずかの小学校時代になります。悔いが残らないように最後まで精一杯がんばってください。1日、1時間を大切に過ごしてください。